

總會 大正十三年二月三日但合總會と馬山市と石井天一人の堂に完備
前組会長藤田義太郎辭任田中定次村任とし初任

教育

大正十三年一月三日組合事業として馬山労働学校を完備

馬山商業會議所に早稲式永毎週六、木、土の
三回一夜の二時會死授業、社会学、法律経済學
心理学、労働組合論、科外の講演を組合幹事
及中等学校教諭を囑託す

奉議

全十町馬山市石井町馬山労働車製造所職工田中

名井の職育されたらつぎ組合日五人を組合一加盟
せしめ會社に交渉の結果全月十八日組合の西平
吉寛允解雇平當として日給二十二日分五十五元
七支給解雇す

講演

大正十三年二月三日馬山労働組合主催に労働

組合の演説會を馬山市大福堂に完備

大會

大正十三年三月十六日馬山市望風會館に組合

大會を用催

講演

大正十三年三月十九日馬山労働学校公開講座を完備

全世日 農民組合と合同主催に労働演説

會を馬山劇場に開催

大会

中區労働組合聯合會を催

爭議

大正十三年六月馬山織布會社爭議を應援す

講演

大正十三年七月十日馬山労働学校卒業式を催す

大会

大正十三年八月十日労働代表者協議會を開催

大会

大正十四年三月十日造船協会の工組合と早川